

【記入例】農業経営改善計画認定申請書

令和 年 月 日

○	掛川市長 殿
/	都道府県知事 殿
/	農政局長 殿
/	農林水産大臣 殿

申請者	住所	掛川市●●▲▲▲▲番地		連絡先	●●-●●●●
	フリガナ	● ● ● ●	フリガナ		
	個人・法人名	● ● ● ●	代表者氏名 (法人のみ)		
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和●●年●月●日生(●●歳)	法人番号		

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画							
① 農業経営体の営農活動の現状及び目標							
(1) 営農類型	状			目標（令和〇年）			
<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物（ ） <input type="checkbox"/> 酪農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養豚 <input type="checkbox"/> 養鶏 <input type="checkbox"/> 養蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜	<input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 複合経営	<input checked="" type="checkbox"/> お茶は「工芸農作物」 <input checked="" type="checkbox"/> へ	<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input checked="" type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物（ ） <input type="checkbox"/> 酪農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養豚 <input type="checkbox"/> 養鶏 <input type="checkbox"/> 養蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜	<input type="checkbox"/> 複合経営		<input type="checkbox"/> 複合経営	
(2) 農業経営改善に関する目標	現状	目標（令和〇年）	現状	目標（令和〇年）	農業経営において主体的な役割を担う方		
年間所得	600万円	800万円	年間労働時間	2400時間	2000時間	主たる従事者の人数	1人
主たる従事者1人 当たりの年間所得	600万円	800万円	主たる従事者1人 当たりの年間労働時間	2400時間	2000時間		

複数作物を実施している場合、一つの作物が8割以上を占めている場合はその作物に☑。8割以下の場合は複合経営へ☑

申請前年の農業所得額(青色申告決算書所得額)

お茶は「工芸農作物」へ☑

別紙の農業所得と一致(目標も同様)

農業経営において主体的な役割を担う方

② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産										(2) 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業 (売上げ)		
所得年の作付け面積及び生産量	現 状		目標 (令和〇年)		作目・部門名 (畜 産)	現 状		目標 (令和〇年)		事 業 内 容	現 状	目 標 ( 年)
	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量		飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量			
茶 (荒茶)	250	1茶3750kg	250	1茶4640kg						・農畜産物を原料又は材料として使用して行う製造又は加工 ・農畜産物の貯蔵、運搬又は販売(荒茶小売り等) ・農業生産に必要な資材の製造等 ・作業受託 について記入してください。	円	円
〃		2茶3700kg		2茶4220kg							円	円
〃		秋冬番800kg		秋冬番800kg							万円	万円
水稲	20	1,050kg	20	1,100kg							万円	万円
小麦	10	250kg	10	300kg							万円	万円

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア 農用地						イ 農業生産施設						
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目標 (令和〇年) (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目標 (令和〇年)	
									棟	m <sup>2</sup>	棟	m <sup>2</sup>
所有地	静岡県	掛川市 倉真	田	200a	200a	茶工場	静岡県	掛川市 倉真	1	150	1	150
	静岡県	掛川市 上西郷	畑	30a	30a							
借入地	静岡県	掛川市 倉真	田	50a	150a							
その他	その他には「特定作業受託」の農地について記載してください。 (特定作業受託:生産物の販売名義・販売収の処分権が受託者にあり、当事者間で契約書を交わした農地)											
経営面					380a	経営面積合計			1	150	1	150

畜舎、蚕室、温室その他これらに類する農畜産物の生産の用に供する施設を記載してください。

<p>③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置</p> <p>【現状】 茶園が5箇所に分散しており、農道が整備されていない。</p> <p><b>旧様式④の農地利用や作目別品種構成等に記載していたような内容を記入します。</b></p> <p><b>農用地の利用条件（ほ場の大きさ、区画等）や生産の効率化・省エネ技術利用による生産管理の推進等について記入。</b> <b>作物が複数ある場合は、それぞれの目標を記入。</b></p> <p>【目標】 農地の集積を図り、茶園の借地により規模拡大を図る。基盤整備事業を活用する。規模拡大に伴い、家族に労働負担がかからないよう、乗用摘採機で管理する面積を拡大、機械化による省力化を図る。農道が整備されていないため、農道の舗装整備を行い、機械化に適した茶園環境にする。</p>	<p>④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置</p> <p>【現状】 青色申告を行っているが、複式簿記でないため、経営内容が把握しきれていない。</p> <p><b>旧様式⑤に記載していたような内容を記載します。</b></p> <p><b>簿記記帳、経営内役割分担、経営形態の近代化などを記入</b></p> <p>【目標】 複式簿記をパソコンで行い、記帳結果を経営に生かす。妻に経営管理の役割を担ってもらう。経営関係の研修会に積極的に参加する。</p>
<p>⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置</p> <p>【現状】 特に休みを決めていない。仕事の忙しい時期などの休みが取れない。</p> <p><b>旧様式⑥に記載していたような内容を記載します。</b></p> <p><b>休日制の導入、臨時雇用の活用による労働負担の軽減など。家族経営協定を締結している場合は、役割分担等の内容を記入</b></p> <p>【目標】 家族そろって休みがとれるように、パートなどを活用する。世代交代も視野に入れた家族経営・経営継承を行う。</p>	<p>⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置</p> <p>低金利の資金を活用して本事業の推進を図る。 <b>（予定年度・予定資金等わかれば記入してください）</b></p> <p><b>その他、旧様式⑦に記載していたような内容を記載してください。</b></p> <p><b>雇用契約に際し、あらかじめ7か月以上の雇用期間を定めて雇った人（期間を定めずに雇った人を含む）</b></p>

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年 齢	性別	代表者との続柄 (法人経営にあっては役職)	現 状			見 通 し ( 年 )			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	人	見 通 し	人
				担当業務	主たる従事者	年間農業従事時間	担当業務	主たる従事者	年間農業従事時間						
掛川一郎	39	男	(代表者)	全般	○	2400	全般	○	2000						
掛川さくら	37	女	妻	補助		2160			1600			1 人	見通し	2 人	
掛川太郎	67	男	父	補助		2000			1600			30 人	見通し	100 人	
掛川秋子	63	女	母	補助		1600			800						

見通しの年間従事時間は一人2000時間以下が原則

臨時雇用(年間)の延べ人数には、実人数×日数(1日8時間として)で計算した人数を記入  
例) 1人1日8時間を2人、50日間雇う=1人×50日×2人=100人

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
現状機械・施設名	
トラクター 28ps	1台
乗用摘採機	1台
防霜ファン	250a
軽・普通トラック	各1台
茶刈機	2台
製茶機械60kg	1ライン
取得予定機械・施設名	
防霜ファン	50a

現在所有している農業要機械・施設等について、記載してください。トラクターや田植機等わかる範囲でpsや条数をご記載ください。

生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用機械及び装置、器具及び備品、建物及び付属設備、構築物、ソフトウェア等を記載してください。融資を活用して導入しようと考えている機械等は必ず記載してください。

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3)農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)